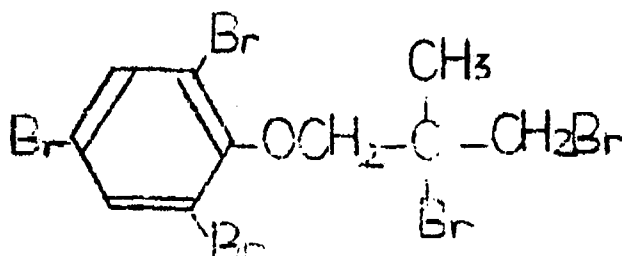


2,4,6-トリブロモフェニル(2-メチル-2,3-ジブロムプロピル)
エーテルの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年12月23日～昭和52年5月23日
2. 試料名 2,4,6-トリブロモフェニル(2-メチル-2,3-ジブロムプロピル)エーテル (試料名K-329)

分子式 $C_{10}H_2OBr_5$

構造式



性状 融点 81℃

純度 97.6% (臭素含量 71.7%)

溶解性 水に不溶

沸点 280℃ (分解)

(提示資料による)

3. 試験方法及び条件

環保業第 5号
薬 発第 615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
49 基局第 392号 }

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

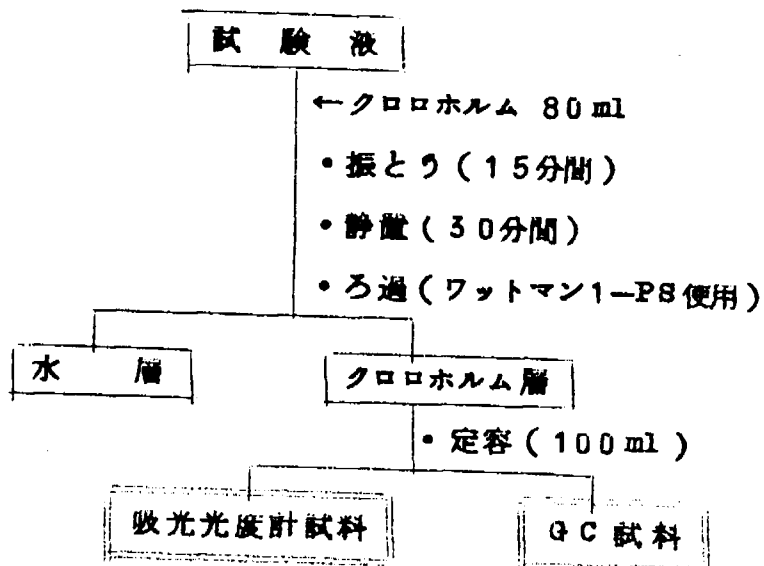
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

紫外可視自記分光光度計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

紫外可視自記分光光度計 (吸光光度計)

波 長 240 nm ~ 330 nm

スリット幅 4 nm

使用セル 石英セル 10 mm

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 2%OV-17/クロモソルプWAW

ガラスカラム 2 mm ϕ \times 0.3 m

カラム温度 174 $^{\circ}C$

以下次頁に続く

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	2.9	1	—
吸光光度計による結果	3.1	2	1
G C による結果	1.8	3	2

5. 備 考

クロメーターへのセット状況は次のようであつた。

仕込時 水系、汚泥系共にK-329の白色粉末がビンの底及び液面に存在し、水中には分散していなかつた。

終了時 水系は透明で白い沈澱があつた。

汚泥系の試験液が白く濁つていた。

pH は水系 6.9 汚泥系 6.7 であつた。

以 上